

ヒルフェ通信(1月号)

❖ そっと寄り添いやさしくサポート ❖

「公益社団法人成年後見支援センター
ヒルフェ」は高齢者、精神障がい者、知的
障がい者等の権利の擁護及び福祉の
増進に寄与することを目的として、東京都
行政書士会が設立した法人です。



新年明けましておめでとうございます。本年も、ヒルフェの活動や成年後見に
役立つ情報を掲載してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



◆特別区長会会長吉住新宿区長訪問報告

令和7年12月1日(月)に、齊藤理事長、佐々木副理事長、大津常任理事(地区・ブロック活動
担当)、ヒルフェ新宿地区菅原地区リーダー、東京都行政書士会新宿支部の河野支部長の5名
で、新宿区役所を訪問し、特別区長会会長吉住健一区長に面会してまいりました。

まず、齊藤理事長から訪問の趣旨を、佐々木副理事長
から事業概要についてそれぞれご説明申し上げました。

その後、菅原地区リーダーより、11月15日(土)に四谷
保健センターで開催された本会主催の成年後見無料市民
セミナーにつき、新宿区および新宿区社会福祉協議会から
後援を賜ったことへの御礼を申し上げました。

吉住区長からは、新宿区は定住外国人の割合が23区
内でも高いことなどについてお話があり、これを受けて河
野支部長より定住外国人が抱える課題の解決に向けた
行政書士の一層の活用等について要望をお伝えいたしま
した。

面会は終始和やかな雰囲気の中で進み、大変内容の濃い有意義な訪問となりました。
(地区・ブロック活動担当常任理事 大津敏久)



◆広報主催の「AED(自動体外式除細動器)・CPR(心肺蘇生法)」研修を実施しました

12月12日(金)、会館1階会議室におきまして、防災士の資格もお持ちの石井修一会員を講師
にお招きして、「AED・CPR&防災」をテーマに研修を開催いたしました。

今回は実験的に、参加者全員がCPRを体験的に学ぶことを目的としたため、受講可能人数が
限られ、受講者の募集は役員等一部に限定いたしました。

研修は、防災の考え方から始まり、講師のCPRの現場での実体験のお話もあり、たいへん臨場
感のある講義でした。そして実習では『「知ってる」を「できる」に』をテーマに、全員がトレーニング
キットを使用してCPRを体験しました。全員が交代で行いましたが、皆、汗をかき、息を切らしなが
ら必死でした。また、CPRをしながらAEDも使い、救急車を待つという、役割分担をして連携しなが
ら行う実習模擬体験も致しました。質疑応答では、例えば被後見人等のお宅を訪問した際など
に、そのような状況に遭遇した場合、また、自分一人しかいない場合の対応などについての質問
があり、その時に応じた対応のアドバイスもいただくことができ、大変有意義な研修となりました。

最後に、地震などの災害に対する意識の必要性や、土業としてできることのお話がありセミ
ナーは終了しました。

今後も、希望する方が全員受講できるよう、機会を設けて参りたいと思いますので、是非ご参加
ください。(広報理事 高山久美子)

